

施工説明書

TOTO

サーモスタットシャワー金具

TUMG40型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。




1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)





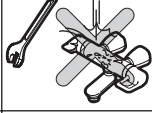

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。


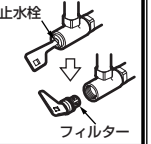
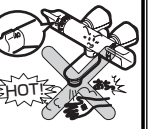

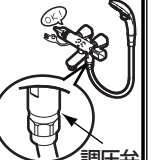

●この説明書では機器を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意		
	<p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>	 <p>給水側 給湯側</p>
	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	 <p>OK! 85℃以下</p>
	<p>製品に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>故障や水漏れの原因になります。</p>	
	<p>修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。</p> <p>故障や水漏れの原因になります。</p>	

注意		
	<p>必ず実行</p> <p>フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターを緩めずに、止水栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	 <p>止水栓 フィルター</p>
	<p>必ず実行</p> <p>目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度設定を行ってください。</p> <p>使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。</p>	 <p>HOT</p>
	<p>禁止</p> <p>水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	 <p>調圧弁 水抜コック</p>
	<p>必ず実行</p> <p>寒冷地用</p> <p>凍結が予想される場所でご使用になる場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。</p> <p>部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

2 仕様

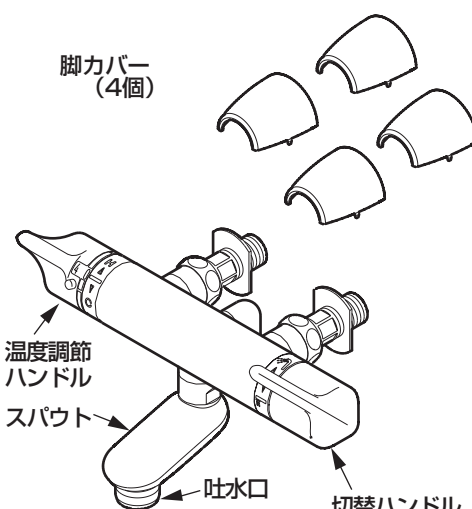
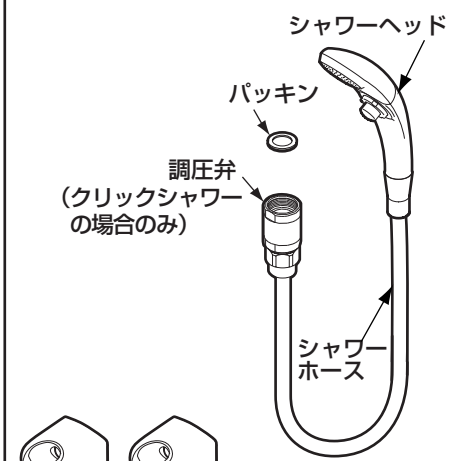
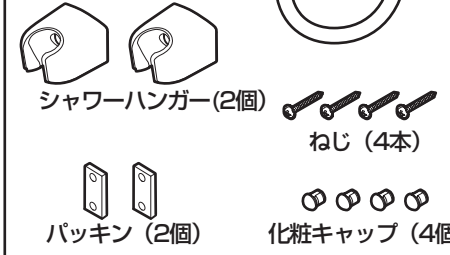

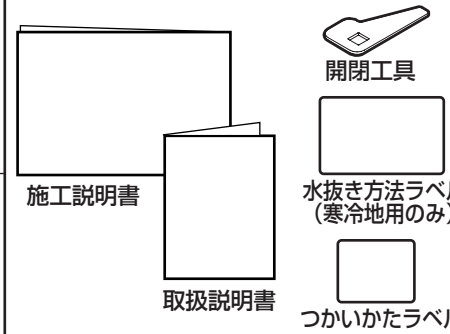

給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.05MPa (流動圧) (クリックシャワーの場合は0.07MPa)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅浴室用

3 取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

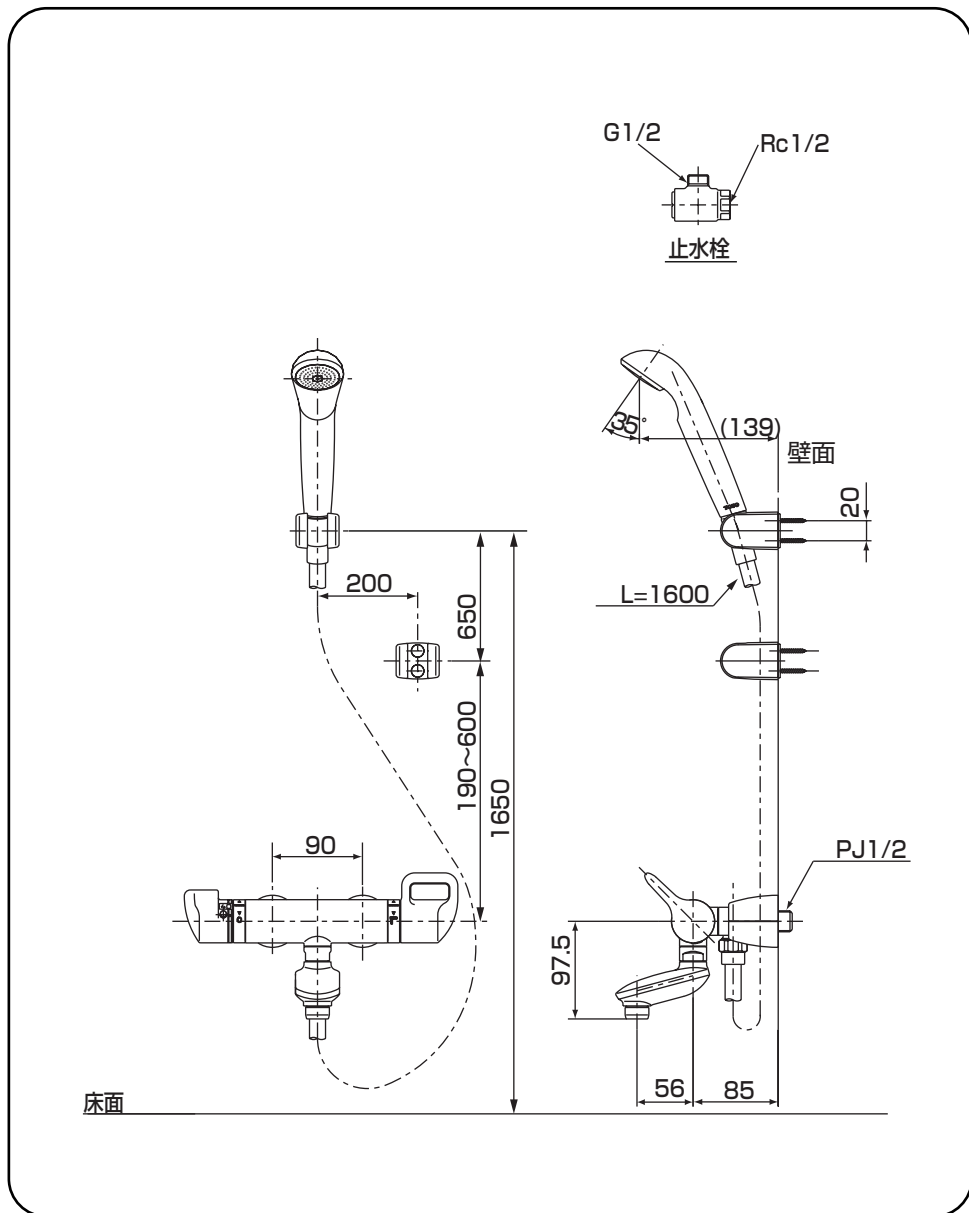
水栓本体部	シャワー部
	
	
止水栓部	その他
<p>一般地用</p>  <p>止水栓 (2個)</p>	
<p>寒冷地用</p>  <p>止水栓 (2個)</p>	

※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なることがあります。

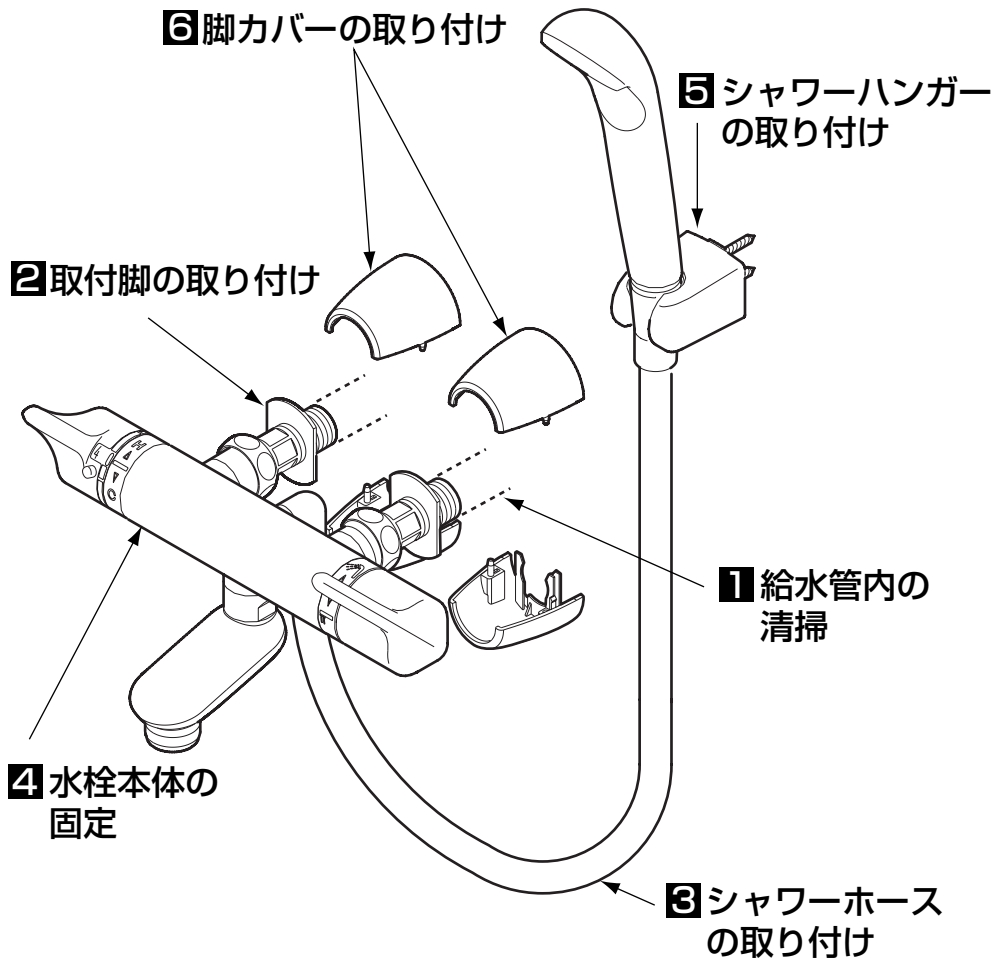
裏面へつづく

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



6-1 施工手順



1 給水管内の清掃

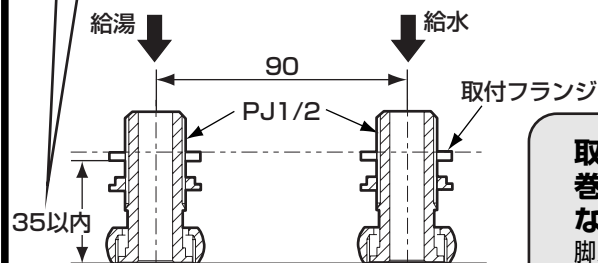
器具を取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

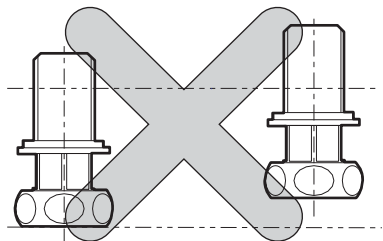
2 取付脚の取り付け

取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)

取付脚は取付フランジから35mm以内になるよう取り付けてください。



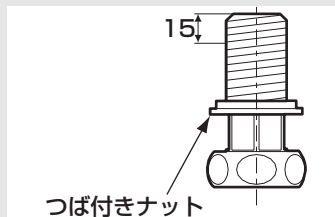
左右の取付脚の端面は壁面に対して平行で面一のこと



注意

取付脚部にシールテープを巻く際は15mm以上巻かないでください。

脚カバーの取り付けが出来ない場合があります。この時、つば付きナットを取付脚のねじ終わりの位置(それ以上ねじ込めない位置)までねじ込んでおいてください。



つば付きナット

3 シャワーホースの取り付け

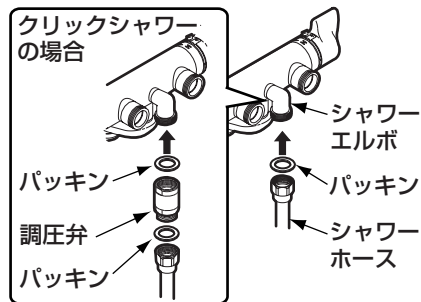
シャワーホースを図のように取り付ける。

注意

●パッキンが入っていることを確認してください。

●クリックシャワーの場合必ず調圧弁を取り付けてください。

調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。



※調圧弁は手締めで確実に取り付けてください。

4 水栓本体の固定

- ①水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ②水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

注意

●緩みがないようにしっかり締めてください。

袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

●取付脚は回さないでください。

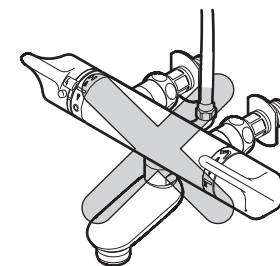
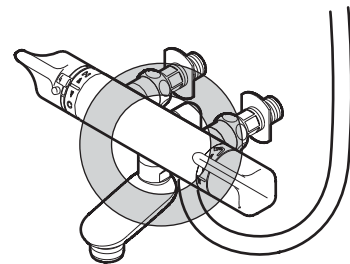
配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。

●パッキンが入っていることを確認してください。

パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

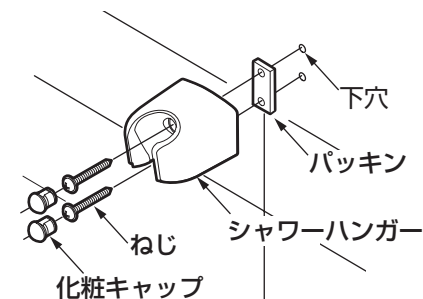
- ③シャワーホースを取付脚の下から取り出す。

※寒冷地用の場合は取付脚の上から取り出すと水抜きができなくなります。



5 シャワーハンガーの取り付け

- ①下穴を開ける。
※取付位置は 5 『完成図』を参照
- ②パッキンをシャワーハンガーの裏面に貼る。
- ③止めねじでシャワーハンガーを固定する。
- ④化粧キャップをねじ穴に確実に押し込む。

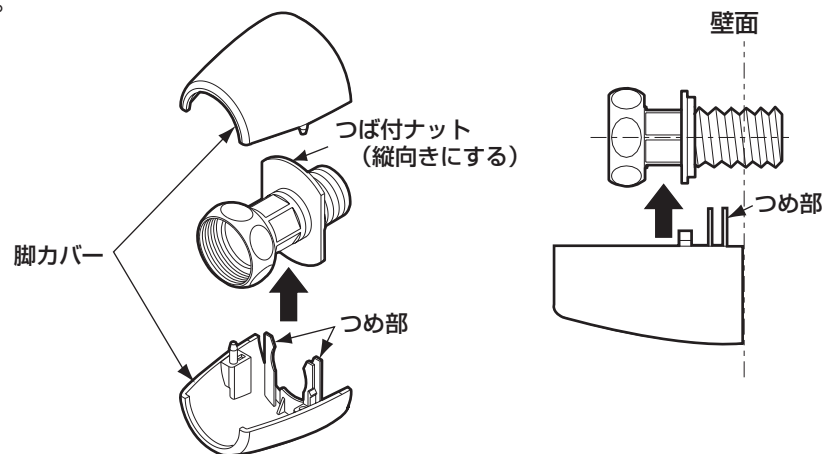


次項へつづく

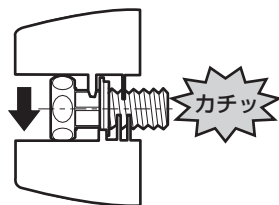
6-3 施工手順

6 脚カバーの取り付け

- ① つば付ナットを下図のように縦向きにし、壁面に沿って脚カバーのつめ部をねじにはめ込む。

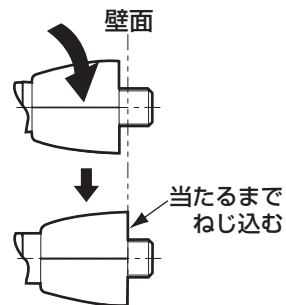
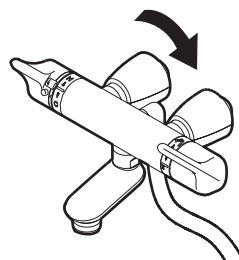


- ② 脚カバーの爪部を交互に合わせ、はめ込む。



- ③ 脚カバーを時計回りに回し、壁面に当たるまでねじ込む。

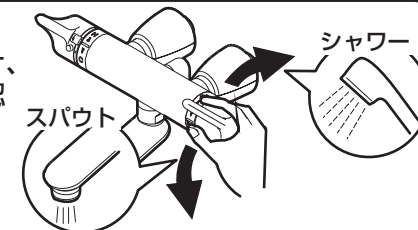
時計回りにねじ込むことにより壁に固定できます。動かなくなるまでねじ込んでください。



7-1 施工後の調節

1. 水出し確認

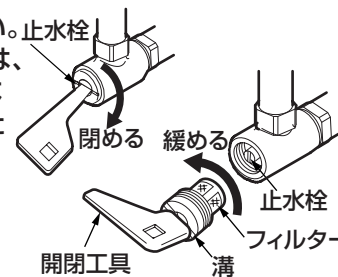
取付けが完了した後、配管部の元栓を開け、スパウト及びシャワーから水が出るか確認してください。



2. フィルターの掃除

器具取付け後は必ずフィルターを掃除してください。止水栓フィルターがつまると流量が少なくなったり、水又は、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもとどき掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、開閉工具でフィルターを外してください。(詳しくは取扱説明書の「日頃のお手入れ」を参照してください。)

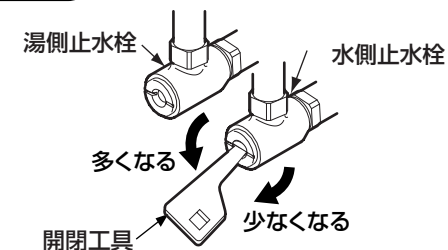


3. 止水栓による流量調節

※切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などに、止水栓でお好みの量に調節できます。

止水栓の流量調節ねじを回す。

時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。



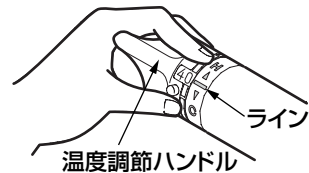
4. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場ですべて設定されていますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの温度にならないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の給湯温度を設定する。

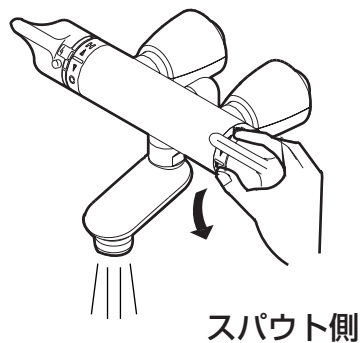
給湯機の給湯温度は、吐水温度より10℃以上高く設定してください。

2. 温度調節ハンドルの目盛り "40" をラインに合わせる。



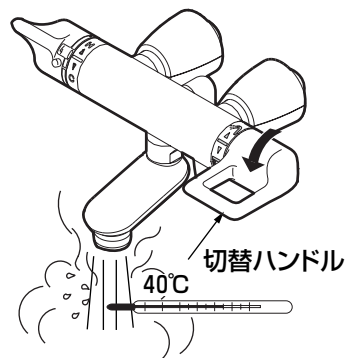
3. 切替ハンドルを下いっぱいに戻す。

スパウトから水が出ます。



4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温（およそ40℃）であればそのままご使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、次項を参照の上、温度調節ハンドルを設定し直してください。

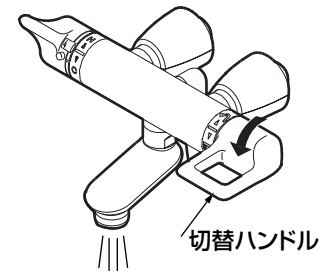


5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示通りになっていない時に行なってください。

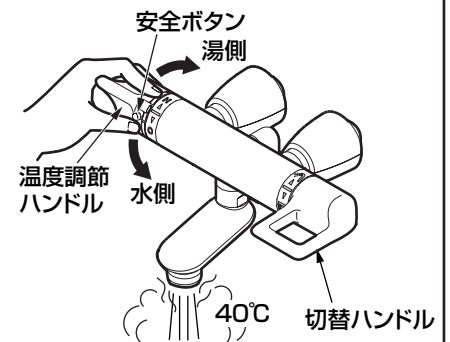
1. 切替ハンドルを下いっぱいに戻す。

スパウトから水が出ます。



2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく40℃の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。



豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部分を軽くたたいてください。

4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを"カチッ"と音がするまで押し込んでください。



5. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。

取付けが完了した後、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

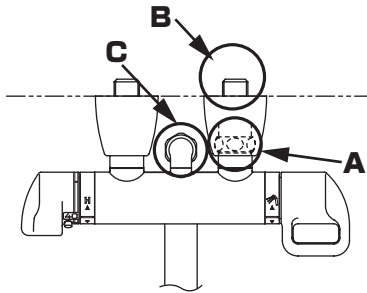
水栓本体のガタツキがないか確認してください。

袋ナットの緩みはないですか？

➡ **6-2-4** 「水栓本体の固定」 参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

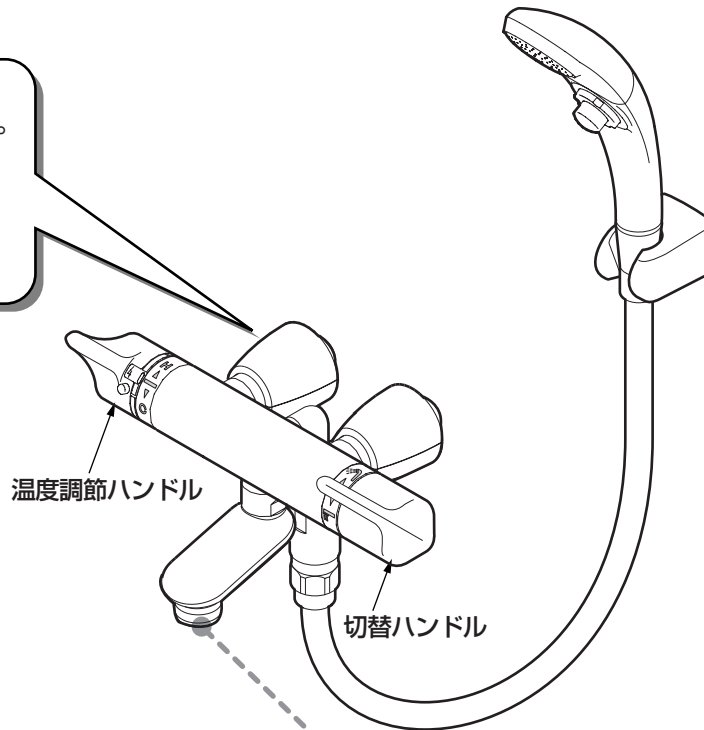


A・Cから水漏れがある場合

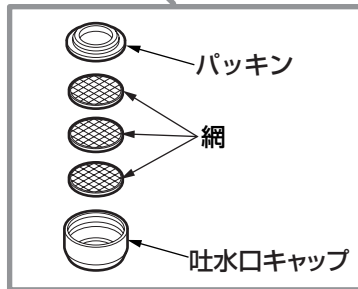
パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

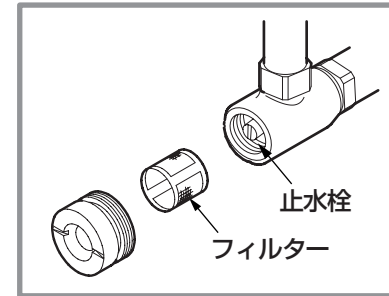
配管に腐食・ひび割れなどがいないことを確認の上、再度取り付け直してください。



吐水口



止水栓



流量及び吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ **7-1** **2. フィルターの掃除** 参照

止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。

7-1 **3. 流量の調節** 参照

吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。



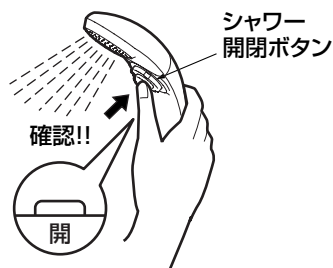
9

寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉め、水抜き栓を開ける。

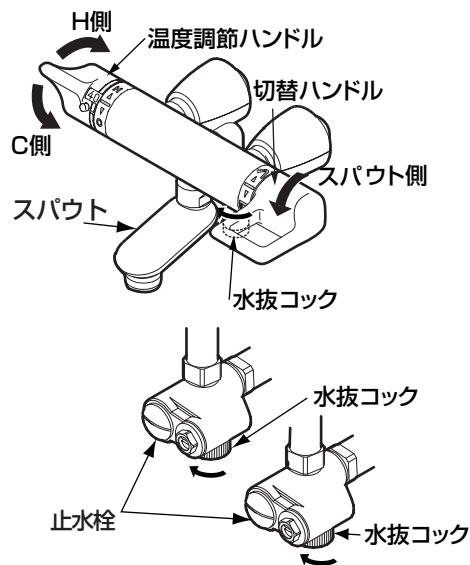
2. (クリックシャワーの場合)
シャワーから水を出し、シャワー開閉ボタンが“開”の状態になっていることを確認する。



3. 切替ハンドルを下いっぱい回す。

4. 水抜きコック (3ヶ所) をすべて開ける。

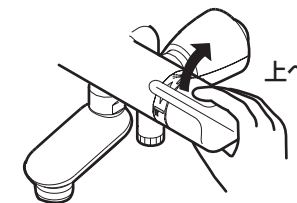
水抜きコックは本体、水側止水栓、湯側止水栓にあります。



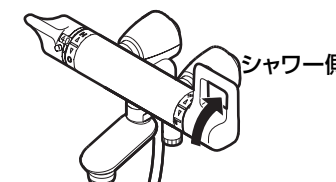
5. 温度調節ハンドルを上 (H側) いっぱい回して水を抜く。

6. スパウトから水が出なくなったら、温度調節ハンドルを下 (C側) いっぱい回して水を抜く。

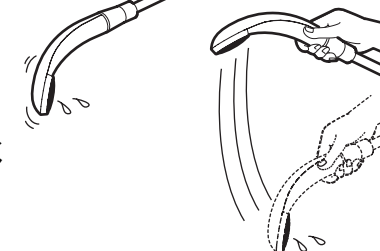
7. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルを上いっぱい回す。



8. シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜く。



9. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。



10. 水抜き完了後は必ず水抜きコックを閉めて、切替ハンドルのレバーを水栓本体のラインの位置 (水が出ない状態) に戻す。

